

# 兵庫県立 考古博物館 NEWS [Vol.23]



Hyogo Prefectural  
Museum of  
Archaeology



2019 Spring-Summer

2019年春夏号

- 特別展「縄文土器とその世界」
- 古代鏡展示館 春季企画展「発掘された銅鏡」
- 一支国博物館連携企画展「壱岐の古代文化」

特別展 4月20日～6月23日

## 縄文土器 と その世界

— 兵庫の1万年 —



深鉢型土器  
丁・柳ヶ瀬遺跡(姫路市)  
当館蔵



注口土器  
佃遺跡(淡路市)  
当館蔵



遮光器土偶  
亀ヶ岡遺跡(青森県つがる市)  
辰馬考古資料館蔵



火埴型土器  
諏訪前遺跡(新潟県津南町)  
津南町教育委員会蔵

特別展

# 「縄文土器とその世界 ―兵庫の1万年―」

期間：2019年4月20日(土)～6月23日(日)

約1万5千年前に始まった縄文時代は、それまで寒冷な気候だった旧石器時代から温暖化に転じたことで、海面上昇や植生の変化など、環境が大きく変動した時期にあたります。

これに伴い「定住・土器の使用・弓矢を用いた狩猟・海への進出」など人々の生活も大きく変化しました。なかでも土器は食糧の煮炊きに欠かせない調理用具であるとともに、形態や製作技法、施された文様には時代の変化や地域の特色が如実に表れており、時代を表す標準資料として特に重要な存在です。

兵庫県では過去30年間の発掘調査で、縄文時代の遺跡も多数調査されました。時期による各地での土器の共通的な特徴の変化が読み取れ、西日本や東



深鉢型土器〔火焰型土器〕 諏訪前遺跡(新潟県津南町)  
【津南町教育委員会蔵】



遮光器土偶 亀ヶ岡遺跡(青森県つがる市)  
【辰馬考古資料館蔵】

日本との交流も明らかになってきました。

今回の展示では、日本を代表する縄文芸術にあふれる展示品をとおして、縄文人の心を感じていただきます。また、兵庫県内各地域の縄文時代草創期から晩期までの1万年以上に及ぶ縄文時代の土器から時代の変化を読み取るとともに、精神生活や広域的な交流などの縄文世界を検証し、当時の社会や生活の実態にせまります。

(学芸課 深井明比古)



佃遺跡(淡路市)の土器たち【当館蔵】



## 古代鏡展示館 春季企画展

## 「発掘された銅鏡 —兵庫に伝わった鏡と文化—」

期間：2019年3月15日(金)～9月10日(火)

場所：加西分館「古代鏡展示館」(加西市豊倉町飯森1282-1)

日本における銅鏡の歴史は、約2千年前の弥生時代中期までさかのぼります。当時の中国、前漢王朝の对外政策の影響は海を越え、倭国と呼ばれた日本に及びました。この時に前漢と向き合ったのは、北部九州の首長たちであり、その交流の過程で伝わった多くの文物のひとつに銅鏡がありました。日本における鏡は、中国における化粧の際の姿見という用途ではなく、前漢王朝の権威を帯びた宝器という意味を持っていたようです。日本人の鏡を嗜好するルーツがここにあります。

一方、当時の兵庫の地は直接前漢と向き合うことはありませんでした。従って弥生時代後期に銅鏡が東へ伝播していく過程で、県内の地域の有力者がそれを入手したと考えられます。彼らが最初に手にした鏡の多くは、中国鏡を模倣し、国内で生産された小形の鏡である「小形仿製鏡」、そして中国鏡を打ち割っ

た「破鏡」でした。表山遺跡(神戸市)出土の小形仿製鏡は、北部九州で制作されたものと推定されています。また、破鏡は、鏡としての機能は損なわれているものの、破面を研磨したり、紐を通すために穿孔したものが、所有者にとっては、特別な想いを有したものであったと考えられます。

古墳時代に入ると国産鏡の制作も本格的に始まります。中国鏡を模倣したものが主流でしたが、そこに表現された図像からは、古代中国の人々が込めた思想までは模倣しきれなかったことが推定されます。今回の展示では、兵庫県内の弥生時代以降の遺跡から出土した銅鏡と、千石コレクションの古代中国鏡の中から遺跡出土鏡に関連する銅鏡を併せて展示します。破片となって出土した銅鏡のもとの姿、表現された図像の変遷や鏡に対する文化の違いをご覧ください。

(加西分館 長濱誠司)

異体字銘帯鏡  
前漢【当館蔵・千石コレクション】赤烏七年対置式神獸鏡  
安倉高塚古墳(宝塚市)出土【当館蔵】八弧内行花文鏡  
向山2号墳(朝来市)出土【当館蔵】

## 一支国博物館連携企画展

## 「壱岐の古代文化 —海をめぐる生業と交流—」

期間：2019年7月20日(土)～9月1日(日)

壱岐島(長崎県)は、海上交通の拠点として朝鮮半島を経由した大陸との交流に重要な役割を果たして来ました。ゆえにそのことを示す多くの遺跡は「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」として日本遺産として認定されています。

特別史跡原の辻遺跡は弥生時代の前期～古墳時代にかけての大規模集落跡で、多重の環濠や船着き場が見つかりました。『魏志倭人伝』に記された「一支国」の中心と見られています。

また壱岐島には、主に6世紀後半から7世紀初めに造られた古墳が280基も存在しています。双六古墳や

笹塚古墳の横穴式石室からは金で飾られた大刀飾りや馬具が出土しています。

本展では壱岐島の古代文化を出土した考古資料で紹介するとともに、兵庫県内から出土した考古資料も加えて、海を基盤に生活を営んだ人々の生業と交流について展示します。

(学芸課 池田征弘)

金銅製亀形飾金具 笹塚古墳(長崎県壱岐市)出土  
【壱岐市教育委員会蔵・写真提供】

## イベント

予約・問合せ TEL 079-437-5562 (学芸課)

5/3 金祝	ゴールデンウィークイベント「体感！縄文時代」	縄文土器パズルや本物の「火焔型土器」にさわって、縄文時代を体感しよう。
	時間 13:00～15:00	料金 無料 当日受付
6/1 土	遺跡ウォーク「縄文遺跡と日本遺産を巡るー福本遺跡から銀の馬車道までー」	
	時間 10:00～15:30	定員 20名 料金 200円 要予約 4/2 火～
7/27 土	考古博 DE 夏まつり	楽しい古代体験がいっぱい！
	時間 12:30～15:30	料金 無料 【一部観覧券要】
8/12 月祝	古代の家を作ってあそぼう	当日受付
	時間 13:30～15:00	定員 20組 料金 無料 対象 小学生以下(保護者同伴)
8/17 土	壱岐の貝殻を使ったワークショップ	当日受付
	時間 11:00～16:00	定員 100名 料金 無料
バックヤード見学ツアー 普段は入らない博物館の舞台裏を案内します 当日受付 【要観覧券】		
7/31・8/21・8/28	時間 ①13:30～14:20、②14:30～15:20(受付13:00～)	定員 各回15名
学芸員によるミニ講座 常設展示の一つを詳しく紹介します 当日受付 【要観覧券】		
4/7・4/14・6/30・7/7・7/14・9/8・9/15・9/22・9/29	時間 13:30～14:00	

## 体験講座

要予約 往復はがき▶抽選 申し込みは下記参照

① 6/15 土	“ハンペルマン”引っ張ると踊る土偶をつくろう！	締切 5/4
	時間 13:30～15:00	定員 20名 料金 100円 対象 小4～
② 6/16 日	縄文土器文様のペン立てをつくろう！	締切 5/5
	時間 10:00～15:00	定員 15名 料金 400円 対象 小4～
③ 6/22 土	“縄文の仮面”土面をつくろう！	締切 5/11
	時間 13:30～15:30	定員 15名 料金 200円 対象 小学生～
④ 7/21 日	はじめての土器づくり	締切 6/9
	時間 10:00～15:00	定員 25名 料金 800円 対象 小4～
⑤ 7/28 日	キラリ！ガラスまが玉づくり	締切 6/16
	時間 10:00～15:30	定員 16名 料金 1000円 対象 小学生～
⑥ 8/4 日	漢委奴国王の印づくり	締切 6/23
	時間 10:00～15:30	定員 12名 料金 1000円 対象 小4～
⑦ 8/7 水	バックヤード見学ツアー こどもスペシャルツアー	締切 6/26
	時間 13:30～15:30	定員 15名 料金 要観覧券 対象 小学生限定
⑧ 8/18 日	古代の技に学ぶかごづくり～クラフトテープ～	締切 7/7
	時間 10:00～12:00	定員 10名 料金 500円 対象 小4～
⑨ 8/25 日	まが玉のネックレスづくり	締切 7/14
	時間 10:00～12:00	定員 15名 料金 500円 対象 小4～
⑩ 9/1 日	キラキラミサンガづくり	締切 7/21
	時間 10:00～12:00	定員 10名 料金 300円 対象 小4～

体験講座

申し込み方法 8週間前から受付▶6週間前に抽選▶結果送付

往復はがきに以下の内容を記入し、当館までお送りください。

- 講座開催日・講座名 ■ 氏名・年齢(全員分・4名まで)
- 住所(代表者) ■ 電話番号(当日連絡のつく番号)

お問合せはこちら

定員に満たない場合、1週間前まで電話受付。TEL 079-437-5564 (学習支援課)

- 「特別展展示解説」は特別展開催期間中の日曜日に実施。13:30～14:00※要観覧券
- 「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:30～15:30
- イベントについての詳細情報は当館ホームページやチラシでご確認ください。

## 講演会

当日受付

13:30～15:00(12:50 開場) 当館講堂【無料】  
※混雑時は開場時間を早める場合があります。定員120名

### 春の特別展

4/20 土	縄文文化の世界同時代史
	泉 拓良(京都大学名誉教授 奈良大学名誉教授 弘前大学人文社会科学部客員研究員)
5/11 土	雪国の火焔土器文化
	佐藤雅一(新潟県津南町教育委員会学芸員)
5/18 土	いま明らかになる兵庫の縄文
	深井明比古(当館社会教育推進専門員)
5/25 土	土器棺墓一生と死を媒介する縄文土器ー
	岡田憲一(奈良県立橿原考古学研究所指導研究員)
6/8 土	ひょうご5カ国の縄文を歩いたころ
	石野博信(当館名誉館長)

### 夏の企画展

7/20 土	壱岐の弥生時代
	松見裕二(壱岐市教育委員会文化財課学芸員)
8/3 土	邪馬台国時代の壱岐とヤマト
	石野博信(当館名誉館長)
8/10 土	壱岐の古墳時代
	田中聡一(壱岐市教育委員会文化財課学芸員)

### 兵庫考古学研究最前線 2019

9/7 土	飛鳥時代の播磨の食器
	新田宏子(当館学芸員)
9/14 土	酒づくり今むかしー赤米酒を造ってみてー
	高瀬一嘉(当館館長補佐)

加西分館からのお知らせ  
要予約 TEL 0790-47-2212

### 連続講座「発掘担当者 鏡を語る」(全5回)

- 6月1日(土) 近畿最古の国産鏡を掘るー神戸市表山遺跡の調査からー 深江 英憲((公財)兵庫県まちづくり技術センター 副課長) 予約5月6日～
- 6月15日(土) 三角縁神獣鏡を掘るーたつの市権現山51号墳の調査からー 山本 誠(兵庫県立考古博物館 学習支援課長) 予約5月13日～
- 7月6日(土) 割られた鏡のナゾー朝来市向山2号墳の調査からー 中村 弘(兵庫県教育委員会文化財課 主幹) 予約6月1日～
- 7月20日(土) 小さな古墳に副葬された鏡ー三木市年ノ神6号墳の調査からー 長濱 誠司(当館事業課長) 予約6月10日～
- 8月3日(土) 経塚に納められた鏡ー朝来市業師前経塚の調査からー 仁尾 一人(兵庫陶芸美術館 学芸員) 予約7月1日～

会場/古代鏡展示館2階(県立フラワーセンター第1会議室)  
定員/各回先着30名 料金/要観覧券 対象/中学生以上

加西市豊倉町飯森1282-1(県立フラワーセンター内) TEL 0790-47-2212

## 兵庫県立考古博物館NEWS vol.23 2019 Spring-Summer

発行年月日 平成31年3月15日

編集・発行 兵庫県立考古博物館  
〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1  
TEL.079-437-5589  
FAX.079-437-5599  
http://www.hyogo-koukoku.jp/

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分  
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西I.C.から約3km
- 駐車場/町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用ください(普通車1回200円)
- 休館日/月曜日(祝休日の場合は翌平日)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド  
兵庫県立考古博物館

